

徳島県阿南市立福井中学校

住所 阿南市福井町大西 1 4 1 番地
電話 0884-34-2234

社会奉仕・人権・命の大切さを学ぶ体験活動

1 学校の立地環境

福井中学校の所在する福井町は徳島県阿南市の南部に位置し、山・川・海に囲まれ、恵まれた自然と温かな地域の人々に包まれた環境である。また、農村地域で竹林が多く県内有数のタケノコの産地である。校区は東西に長く、昭和62年度から全町1小学校1中学校となっている。保護者や地域住民は学校教育に関心が高く協力的である。

2 体験活動の概要と取組状況

(1) ボランティアなど社会奉仕・勤労生産にかかわる体験活動

○ 通学路清掃ボランティア活動とリサイクル品回収活動 ー全学年ー

毎年保護者や地域住民・関係機関の協力のもと、小学校と合同で通学路の清掃活動を行っている。町内を4カ所に分けて自分の通学する道路や道沿いのゴミ拾いを行った。小学生や保護者・地域住民と協力して清掃することの大切さを学んでいる。また、生徒が町内の各家庭に新聞や雑誌などを出してもらおうよう依頼する文書を配り保護者の協力を得てリサイクル品回収作業を行った。



(2) 自然に関わる体験活動

○ 地元特産の竹を利用した「竹飯作り」 ー全学年ー

福井悠々会から3人の講師を迎え、竹の食器、竹の箸づくりを行ったあと「竹飯作り」を体験した。初めて竹を割ったり削ったりした生徒も多く、小刀での作業は少し難しかったようだが、一生懸命に竹の食器・箸づくりに取り組んだ。そのあと竹飯と教職員の用意した豚汁をみんなでおいしくいただくことができた。



○ スキー体験活動 ー1学年ー

自然体験活動として1年生は2月中旬に井川スキー場腕山に行った。本校の所在する福井町は冬になっても雪の積もることはほとんどない。今後の人生の中で初めて出会うことに対しても、チャレンジして積極的に生活が送れるような契機にしたいと考えてスキー体験活動を実施した。また、集団生活の規律を守り、自然に対する対処の仕方を学ぶこともこの活動の大きな目的であった。当日は雨に降られ、条件は悪かったが、インストラクターの指導のもとスキー技術を徐々に身に付け、午後からは全生徒がゲレンデを楽しく滑走できた。



(3) 職業・就業に関わる体験活動

○ 職場体験学習 ー 2 学年ー

キャリア教育の一環として、2 年生が町内外の 11 カ所の事業所で職場体験学習を行った。昨年までは様々な職業に従事している方々に学校に来て頂き、生徒に仕事の内容や生き方を話して頂く「先人に学ぶ交流会」を実施していた。今年度はこれを発展させて職場体験を行った。事業所の中には、「みんな素直で真面目に仕事をしてくれるので、このままアルバイトに来てくれたら」などの言葉をいただいたところもあった。



(4) 文化や芸術に関わる体験活動

○ ふるさと人権フェスティバルでの活動 ー 全学年ー

ふるさと人権フェスティバルは本年度で 11 回を迎える。本校は毎年全学年で参加し、1 学年は会場作り、3 学年はバザー活動を行い、2 学年は第 26 作となる人権劇を上演した。不合理な部落差別や人権問題をテーマに、人権劇を通して町民に人権が尊ばれる共同社会を作ろうと訴えている。



○ 市中学校音楽祭での全校合唱 ー 全学年ー

阿南市内の各中学校が合唱やブラスバンド・箏曲の演奏などを披露しており、本校は初めて全校での合唱を行った。最後の曲では生徒と教職員がいっしょになって合唱し、学校をあげて一丸となって歌を歌うことができた。ある方からはこれが本当の人権問題学習だとお褒めの言葉をいただいた。



(5) 交流に関わる体験活動

○ 高齢者との交流活動 ー 3 学年ー

3 年生が町内にある特別養護老人ホームを訪問し、車椅子の介助の仕方などを学んだあとと老人ホームの職員とともに高齢者の介護や介助を体験させて頂いた。交流を深めることで福祉・ボランティアの意義や先輩を敬い、いたわることの大切さを学ぶことができた。

3 現状における成果や課題

昨年までのさまざまな体験活動では、保護者や地域内外の方々と連携を図り、協力をいただきながら計画的に学習を進めてきた。しかし、今年度「豊かな体験活動推進事業」を推進することになり、昨年までの活動を見直して、より生徒たちが生き生きと活動でき、また保護者や地域住民の期待に添える体験活動を実施しようと努めてきた。活動後の生徒・保護者・各事業所などのアンケート結果では活動内容・活動時期・活動期間等についていろいろな意見をいただいた。生徒たちに変容が見られた反面、まだ「自ら考え判断し、主体的に行動する」まで至らない面も多かったように思われる。この課題解決のために、全教職員が一丸となって議論し、地域住民や保護者・各事業所などからご意見をいただいて対処していくことが重要であると考えている。

しかしながら今年度の活動全体を振り返ってみると、伝統を引き継ぐ活動や地域の自然や地域内外の人々との関わりやつながりの中からは行った活動など、生徒たちは生き生きと活動することができたと考えている。また、教職員についてはねらいを明確にして指導方法の研修を行い、全教職員の資質向上に努めながら、さらにたくましい生徒の育成に取り組んでいきたい。